

平成30年度西和佐小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 岡本 博

作成日 平成30年7月10日

<p style="text-align: center;">和歌山市学校教育指針</p> <p>○確かな学力の育成 ○道徳教育の充実 ○健やかな体の育成 ○特別支援教育の推進 ○不登校・いじめ問題の解消 ○子どもの安全確保の徹底 ○地域と共にある学校づくりの推進</p>	<p>【学校教育目標】</p> <p>強いからだと明るい心をもつ</p> <p>子どもの育成</p>	<p style="text-align: center;">前年度の学校評価</p> <p>○地域の方々の結びつきや「感謝の心」を育てる活動を継続してほしい。 ○「西和佐だより」などの新聞を学校から地域へ発信していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">保護者・地域の願い</p> <p>○子供の学力を定着させてほしい。 ○明るい楽しい学校にしてほしい。 ○相手の気持ちがわかる子どもに育ててほしい。 ○地域に誇りをもってほしい。</p>	<p>【めざす児童像】</p> <p>・自然や地域等の人々とのふれあいを深める子供。 ・人権を尊重し、主体的に行動する子供。 ・体験を通して豊かな心をもつ子供。 ・自ら考え、意欲的に学ぶ子供。</p>	<p style="text-align: center;">児童の実態</p> <p>○毎日元気にあいさつできる。 ○落ち着いて学習に取り組む。 ○家庭学習の時間が少ない。 ○清掃活動などみんなで一生懸命に取り組む。</p>



重点目標	<p style="text-align: center;">確かな学力の向上</p> <p>(1) 基礎学力の向上を図る。 (2) コミュニケーション能力の向上と活用を通して生き生きと主体的に取り組む子どもを育成する。 (3) キャリア教育の整備を図る。 (4) 教員の指導力等の向上を図り、子どもの学力を伸ばす。そのために外部から指導や助言を求める。</p>	<p style="text-align: center;">豊かな心の育成</p> <p>(1) 人権・同和教育を推進するとともに、人権意識の高揚に努める。 (2) 学校や家庭での読書活動を推進し、ゆたかな心の醸成につなげる。 (3) 地域や関係団体、育友会と連携しながら、豊かな体験活動を推進するとともに道徳教育を充実させる。 (4) 教職員と子ども、子どもどうし、教職員と保護者のよりよい関係を通して、お互いの信頼関係を築く。</p>	<p style="text-align: center;">健やかな体の育成</p> <p>(1) 体力向上の推進に努める。 (2) 基本的な生活習慣の確立を図る。 (3) 危機回避能力の育成に努める。</p>	<p style="text-align: center;">地域とともにある学校</p> <p>(1) 授業参観や啓発活動を通して保護者や地域の方々に子育てや教育に対する意識を高める。 (2) 教職員の資質向上や意識改革を図るとともに、その取り組みを広く伝える。 (3) 子どもの様子を積極的発信して保護者地域の方々に知らせる。</p>
具体的な取組	<p>(1) 読書や基礎タイムで、読書・漢字練習・計算練習などを入れ、基礎学力を伸ばす。 (2) 国語科で身に付ける話す力・聞く力・話し合う力・書く力と、総合的な学習の時間等で身に付けるコミュニケーション・スキルの系統的な指導を通して、確かな学力の定着と生きる力を育む。 (3) キャリア教育のはじめの一步として、教員から自分の生き方等の語らいの時間を持つ。 (4) 本年度も市教委客員指導主事の指導訪問を依頼し、研究授業を通して教員の指導力向上を目指す。 (5) 自主学習ノートに取り組み、自ら興味・関心のある課題を追究し、子ども自身で学びを広げる力を育成する。</p>	<p>(1) 家庭や地域・関係各位と連携しながら、講演会等も含めて、子ども一人ひとりの心に響く人権感覚の高揚に努める。 (2) 朝読書や「うちどく」などを通して、学校や家庭で読書活動を推進することでゆたかな心を育む。 (3) 児童の心に響く豊かな体験活動を行うとともに、「私たちの道徳」を活用する等道徳の時間を充実させて、子どもの感性を伸ばす。 (4) 学校の教育活動全体を通じて教職員と子ども、子どもどうしの心の交流を図り、お互いの信頼関係を築く。教職員は保護者と育友会との日々の連絡を通して、子どものよさを共有しながら心豊かな子どもを育成する。</p>	<p>(1) 他校の実践例なども参考にしながら、体力の向上を図るための方策について検討する。 (2) 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。 (3) 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。</p>	<p>(1) 授業参観や学級懇談・地区懇談会等を通して子どもの活動を広く知っていただくことを通して、保護者の子育てや教育に対する意識を高める。 (2) 学校通信「西和佐っ子だより」や学級通信、学年だより等で、本校の子どもの様子を積極的に地域や保護者に知らせる。 (3) 学校開放週間等を通して、教育関係者の学校訪問を促し、教職員の資質の向上を図る。また、その取り組みを保護者や地域の方々に広く発信する。 (4) 学校評議員や学校関係者評価委員をはじめ関係各位と連携を密にしてよりよい学校経営に努める。</p>
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 ・ 児童アンケートで「毎日の学習内容がわかる」90%を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童アンケート「学校が楽しい」95%を超える。 ・ 児童アンケート「友だちと仲よくしている」95%を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活アンケート「毎日、朝ごはんを食べていない」児童を20%少なくする。 ・ 県スポーツテストにおいて、全国平均を上回る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている。」90%に達成する。 ・ 保護者アンケート「教育目標を具体的にわかりやすく伝えている」80%に達成する。